

平成 16 年 11 月 6 日

日本学校教育相談学会

各支部理事長 様

会 員 各 位

日本学校教育相談学会

会長 日野 宜千

### 第 15 回「中央研修会」開催のご案内

会員の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。第 15 回「中央研修会」の研修内容が下記のように決まりましたので、お知らせいたします。年初めではありますが、万障お繰り合わせのうえ、ご参加下さいますようご案内申し上げます。

#### 記

1. 期日 平成 17 年 1 月 9 日（日）～1 月 10 日（月）

2. 会場 東京都立新宿山吹高等学校及び ラポール日教済  
（〒162 - 0801 東京都新宿区山吹町 81）（9 日の開会式と 講義と懇親会）  
会場へのお問い合わせはご遠慮ください。

3. 募集定員 280 名（各コース 35 名程度）

4. 研修内容

9 日 開会式（9：30～ ）\*受付は 9 時から（於：ラポール日教済）

9 時 50 分～11 時 45 分

講義・質疑「特別支援教育の推進と学校での課題」

文部科学省初等中等教育局 特別支援教育調査官 柘植 雅義 先生

9 日 13 時～17 時 30 分 10 日 9 時～15 時（於：新宿山吹高等学校）

コース別研修（講義・演習）

A コース...「学校におけるチーム援助の進め方」 跡見学園大学教授 山口 豊一先生

埼玉県スクールカウンセラー 家近 早苗先生

B コース...「生活分析的カウンセリングの技法 - 無気力からの脱出法 - 」

立正大学大学院教授・心理臨床センター長 松原 達哉先生

C コース...「教育相談係の救急箱 - 学校での危機介入」 福生市教育委員会指導室長

いじめ・保護者への対応ほか 嶋崎 政男先生

D コース...「最近の不登校の動向と異体的な対応」 東京学芸大学教授 小林 正幸先生

E コース...「脳科学を生かした授業や面接の進め方」 早稲田大学助教授 本田 恵子先生

## ステップ・アツプのための3コース

Fコース・・・「特別な配慮が必要な子どもたちのアセスメントと支援プログラムの立て方」

NY州公認スクールサイコロジスト バーンズ亀山静子先生

Gコース...「学校での論理療法の進め方」 聖徳大学助教授 鈴木 由美先生

Hコース・・・「学校でのブリーフ・カウンセリングの実際」広島大学助教授 栗原 慎二先生

## 5. 日程

時刻	9	(30)	10	11	12	13	15	17	18	20
月日曜										
1月9日(日)	受付	開会式	講演・質疑 (柘植先生)	昼食	コース別研修 (都立山吹高校)	移動	懇親会 (日教済)			
1月10日(月)			コース別研修 (都立山吹高校)	昼食	コース別研修 (15時まで)					

## 6 参加申込方法

### (1) 参加費

会員 10,000 円、 認定学校カウンセラー 7,000 円、 非会員 12,000 円、 学生 5,000 円、  
懇親会費 6,000 円 (希望者 - 楽しい交流を考えていますので是非ご参加ください)

### 参加費の送金先

UFJ 銀行 池袋支店 普通口座 7718999

日本学校教育相談学会研修委員会 会計田中 充(ミツル)

(2) 参加申込書に参加費振り込みの領収書を添付して、下記申込先に FAX でお送りください。

申し込み先 〒320 - 0851 栃木県宇都宮市鶴田町 687 - 9 ムギショウビル 2 階

栃木県カウンセリングセンター内

日本学校教育相談学会研修委員会 会計田中 充(ミツル)

TEL 028 - 647 - 1717 FAX 028 - 649 - 1213

(3) 申込締切 平成 16 年 12 月 8 日(水) 必着 定員にならない部会はまだ受け付けています。

申し込みが定員をこえた場合は、期日前でも締め切らせていただくことがあります。

事務局で確認後、受講票をお送りいたします。

(4) 参加取り消しについて 参加を取り消される場合は、必ず下記の専用携帯電話にご連絡ください。  
ご本人の都合によるキャンセルの場合は、返金できませんのでご承知おきください。  
ただし、代理人の方の参加は認めます。

(5) 全研修( ~ )への参加者には、研修終了後、修了証を交付します。

(6) 宿泊については、近畿日本ツーリスト株式会社 東京第3教育旅行支店でお世話いただくことになりました。ご希望の方は下記へご連絡ください。(1月8・9日は40室。10日は10室。希望者が40名を超えた場合でも別途お世話させていただきます。)

・連絡先： 03 - 3255 - 2711 (代表) FAX03 - 3255 - 7328

・担当：原田 矢野

・宿泊先：ホテル エドモント(千代田区飯田橋3-10-8 03-3237-1111)

JR 総武線「飯田橋駅」東口より徒歩5分 または

地下鉄東西線「飯田橋駅」A5出口より徒歩2分

【宿泊費はシングル素泊1泊で10,400円(税込み)です。朝食については、ホテルレストランの利用は別途料金が必要です。もし、ツインを希望される方は、直接近畿日本ツーリストにお問い合わせください。】

・宿泊申込締切：12月13日(月)とさせていただきます。13日以後でも連絡してみてください。

## 7. お問い合わせ及び連絡先

中央研修会に関する問い合わせ(会場案内も)や連絡は、研修委員会専用携帯電話をご利用ください。

研修委員会専用携帯電話番号(白井)080-3443-9753

### 【コース別研修の概要(講師の先生からのメッセージ)】

A コース 「学校におけるチーム援助の進め方」 山口豊一先生・家近早苗先生

「学校生活で苦戦している子どもを、チームで援助することはとても有効である」と考えます。チーム援助では、教師や保護者、スクールカウンセラー等がチームを組んで援助に当たります。ここでは、学校心理学からチーム援助の原理と方法を学び、実際に「演習」を行い、実践的にチーム援助の進め方を学んでいただきたいと思います。

B コース 「生活分析的カウンセリングの技法—無気力からの脱出法—」 松原達哉先生

不登校・ひきこもり・無気力な生徒を対象に、現在の生活全体を反省し、無気力から意欲的な生活に脱出するカウンセリング法の実技実習を行う。不登校生は小中学生だけで約13万人もいる。保健室登校生

も多い。

保健室やHRなどを利用して、シールやLAC(ラック)用紙を使って、楽しくできる行動療法的カウンセリング技法である。(テキスト:松原達哉 2003年『生活分析的カウンセリングの理論と技法』培風館 割引価格で頒布しますので申込書にText希望と記入してください。)

C コース 「教育相談係の救急箱 - いじめ・保護者との対応その他」 嶋崎政男先生

危機場面は必ずあります。危機管理のポイントを学んだ後、具体的な事例を基に、様々な事例研究の手法を用いて、危機介入の実習をしたいと思います。ご自身の事例を用意されても結構です。その場合、申し込みの際にご一報ください。事例研究の諸方法を学びたい方の参加をお待ちしています。

D コース 「最近の不登校の動向と具体的な対策」 小林正幸先生

不登校の形成要因と維持要因を説明した後で、不登校問題の具体的な予防策と対応策について、不登校生徒の追跡調査を元に、その方法やコツを具体的にお話しします。また、現在、熊谷市教育委員会と取り組んでいる不登校半減計画についても詳しく触れたいと思います。

なお、参加者の事例にコンサルテーションの機会を設けます。

E コース 「脳科学を生かした授業や面接の進め方」 本田恵子先生

子どもの脳が変化しています。ランダム思考だけでも感性や発想の優れた子、こだわりはあるけれども着実に一つ一つを言葉や理論づけで理解してゆく子、一斉授業を進める場合でも、道徳やソーシャルスキル教育を行う場合でも、また、面接を深めてゆく場合でも、それぞれの子どもの脳にストレスが少ない学び方があるはずです。このワークショップでは、多面的な知能の理解から始め、具体的に授業や面接でどのように脳科学を応用することができるかを一緒に考えていきます。

F コース 「特別な配慮が必要な子どもたちのアセスメントと支援プログラムの立て方」 バーンズ 亀山静子先生

一人一人の児童生徒のニーズに応えた指導をしていくためには、そのニーズを正確に把握しなければなりません。本講座では、診断名にとらわれるのではなく、今後の指導の指針を得るためのデータに基づいたアセスメントの方法を演習します。さらに、個別指導計画(IEP)を作成し、目標達成のための支援方法を探索します。

WISC - (必修)・その他のテストや尺度に関して実施・採点・結果解釈に経験がある方が対象です。事例を募集しますので、申し込み時に事例提示希望と書いてください。グループワークの時に見立て、IEPの立案をします。

G コース 「学校での論理療法の進め方」 鈴木由美先生

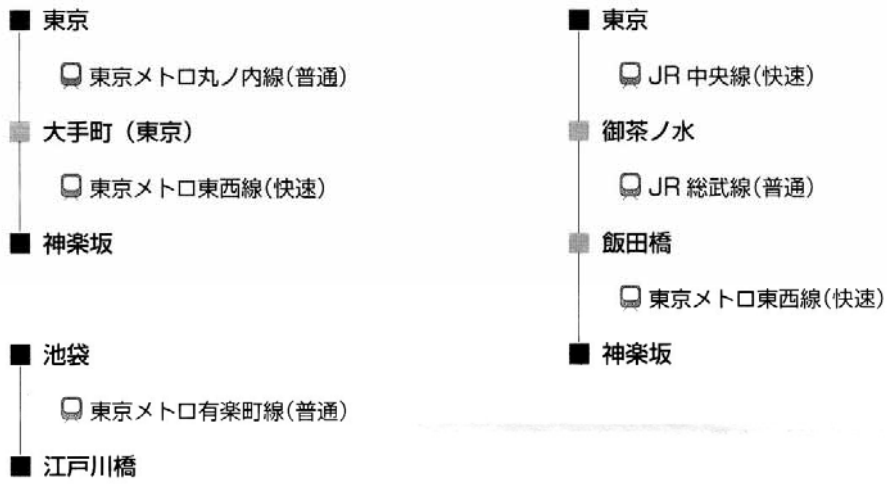
今回は、論理療法をすでに学ばれた方の研修になっています。論理療法について少しは理解しているが、実際に使うには不安がある方に、具体的なシートの使い方、論駁のやり方を共に学んでいきたいと考えています。

また論理療法を使ったカウンセリング実践報告も行う予定です。論理的な考え方を知ること、受講された方が幸せになれるような講義にしたいと思います。

H コース 「学校でのブリーフ・カウンセリングの実際」 栗原慎二先生

ブリーフ・カウンセリングを学んだことがあり、また、ブリーフによる面接を実際にやったことのある人たちを対象に行います。当日は参加者同士のロールプレイングによる面接をビデオにとって分析したり、講師によるデモンストレーションを行ったり、面接の逐語分析を行ったりする予定です。

〔会場案内図〕



東京メトロ東西線「神楽坂」駅下車 出口2  
 〔JR中央線「飯田橋」駅で乗換え、1つ目〕  
 東京メトロ有楽町線「江戸川橋」駅下車 出口1b  
 〔JR中央線「市ヶ谷」駅で乗換え、2つ目〕

日本学校教育相談学会中央研修係 御中 (FAX 028-649-1213)

第15回中央研修会に参加したいので申し込みます。

平成16年 月 日

氏名〔 〕

支部名	非会員は所属等をお書き下さい			
会員番号	認定番号			
勤務先名			電話番号	
自宅住所	〒			
電話番号				
コース別研修の希望(第2まで)		第1希望		第2希望
懇親会	参加	不参加		
入金総額	円		領 収 書 添 付	
入金内訳	会費	円		
	懇親会費	円		

その他

- ・ BコースのTextの購入を 希望する 希望しない
- ・ Cコースの事例提供が できる できない
- ・ Fコースの事例提供が できる できない